

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に伴う

地区懇談会実施報告書

令和5年3月
西東京市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 参加者	1
3. 参加状況	1
4. 実施方法	2
II 地区ごとの結果	6
1. 西部地区.....	6
2. 北東部地区	7
3. 中部地区	8
4. 南部地区	9
III 伊藤副委員長からの講評(要旨).....	10
1. 全体的な共通点(課題)	10
2. 地区ごとの特徴(課題)	10
3. コロナ禍による影響	11
4. 地区懇談会から見た問題～現代の社会問題との関係～	11
5. 問題解決のために.....	11
参考資料.....	13
1. 西部地区.....	13
2. 北東部地区	25
3. 中部地区	37
4. 南部地区	49

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和5年度に「第5期地域福祉計画」及び西東京市社会福祉協議会が策定する「第五次地域福祉活動計画」を策定するに当たり、地域で生活・活動する市民目線での、地域の現状や課題、解決のアイデア等を話し合っていたいただくことを目的として実施しました。

2. 参加者

公募市民、ほっとネット推進員、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ささえあい訪問協力員、ふれあいのまちづくり、自治会・町内会、地域で活動する団体に所属する方など

3. 参加状況

地区	対象地域	回	日付	時間	会場	参加者数
西部	西原町・緑町・谷戸町・芝久保町・ひばりが丘	第1回	1/22(日)	14:00~	緑町コミュニティセンター (緑町 1-5-1)	23人
		第2回	2/5(日)	16:00		23人
北東部	富士町・中町・東町・ひばりが丘北・栄町・北町・下保谷	第1回	1/22(日)	10:00~	保谷庁舎(防災・保谷保健福祉総合センター) (中町 1-5-1)	23人
		第2回	2/5(日)	12:00		23人
中部	田無町・北原町・保谷町・泉町・住吉町	第1回	1/21(土)	10:00~	田無総合福祉センター (田無町 5-5-12)	25人
		第2回	2/4(土)	12:00		24人
南部	南町・向台町・新町・柳沢・東伏見	第1回	1/21(土)	14:00~	イングビル (南町 5-6-18)	25人
		第2回	2/4(土)	16:00		21人
全地区合同発表会		第3回	2/19(日)	10:00~ 12:00	田無庁舎 (南町 5-6-13)	50人

4. 実施方法

第1・2回は地区ごとに、発表会は4地区合同で実施しました。

	実施内容
第1回	地域での困りごと・よくしたいことの洗い出し 現在感じる課題やこれまでの活動を評価する ・自己紹介 ・全体で、簡易ワールドカフェにて意見出し ・グループごとに、課題をフセンに書いて、分類ごとに整理し、第2回の実施内容につなげる
第2回	解決アイデアの検討 好事例の共有や課題解決のアイデアを話し合う ・簡単な事例の共有 ・グループごとに、解決アイデアを出し、フセンを第1回の課題分類ごとに振り分ける ・グループごとに、話し合った内容を発表し、全体発表会での発表内容を決める
発表会	発表 他地域の状況を知り、今後の活動のヒントを得る ・第1・2回の内容を簡潔にまとめ、発表 ・講評

第1回から発表会までの実施方法の詳細については以下のとおりです。

【第1回】

(1) 意見のメモ

はじめに、「困りごと・よくしたいことメモシート」に、記入しました。



(2) 地域での困りごと・よくしたいことの洗い出し



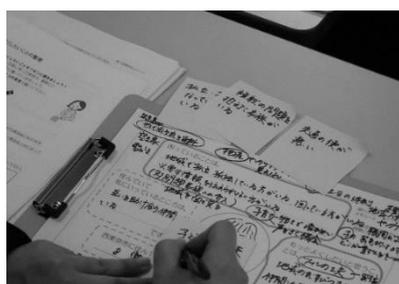
「困りごと・よくしたいことメモシート」を参考に、3～4人の小グループで、席替えをしながらたくさん話し合いました(ワールドカフェ)。

話し合ったテーマは、『普段生活をしている中、地域活動をしている中で、困っていること・もっとよくしたいと思うこと』です。

(3) 困りごと・よくしたいことの整理

(2)の話し合いを踏まえ、印象に残ったり、重要だと思った『困りごと・よくしたいこと』をフセンに書き出しました。

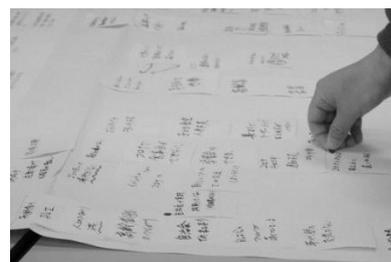
その後、模造紙に貼ってある5年前の懇談会で挙げられた課題に沿って、フセンを分類しました。



(4) 5年前からの変化を考える

整理したフセンを見ながら、『5年前からの変化』を話し合いました。

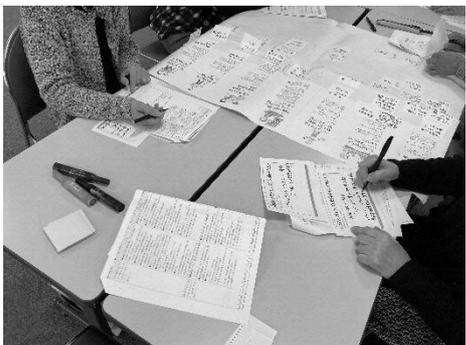
解決が進んでいないものには赤のシール、新たに出てきたものには青のシールをフセンまたはカテゴリに貼り、変化を可視化しました。



【第2回】

(1) 解決のヒント探し

はじめに、第1回で出た『困りごと・よくしたいこと』の解決につながるような取組を、「ヒントシート」に記入しました。



その後、他のグループの「ヒントシート」も見に行きました(ギャラリーウォーク)。



(2) 解決のアイデア出し

他の方の「ヒントシート」も参考にしながら、地域の中で取り組んでいけそうな『解決のアイデア』をフセンに記入しました。



第1回の模造紙を見ながら、対応する『解決アイデア』のフセンを分類し、貼りました。

その後、特に地域で取り入れていきたい『解決アイデア』について、緑のシールを貼りました。



(3) 発表会準備

第1・2回の模造紙の内容について、「発表準備シート」に簡潔にまとめました。

各グループにて、「発表準備シート」を基に、模造紙の内容について発表し、全体発表会に向けた準備を行いました。



【発表会】

(1) 各地区からの発表

各地区の代表者から発表を行いました。



(2) 講評

西東京市地域福祉計画策定・普及推進委員会副委員長である法政大学現代福祉学部伊藤教授からの講評。



Ⅱ 地区ごとの結果

* 発表会内容の要約

1. 西部地区

西部地区の重要な困りごと・良くしたいこと

①世代間の交流、交流の場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> • 交流の場や機会が少ないことがいろいろなことに派生している • 世代間交流が無くなっている
②ボランティアの担い手が少ない	<ul style="list-style-type: none"> • 若者や親世代、特に定年後の男性が活躍できていない
③情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> • 特に高齢者が、スマートフォンの使い方が分からず情報が届かない。現在の市の取組だけでは解決が難しい / • 相談の内容が複雑化しているが、ホットライン（相談窓口）が少ない
④空き家が増えている	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家利用の問題

●解決アイデア

●…解決アイデア

★…重点的に取り組みたい解決アイデア を示しています。

①世代間の交流、交流の場が少ない

★人と知り合える、世代を超えてつながりを生み出す場づくり

例えば…

ボードゲーム、ゲーム大会、立ち飲みバー、テーマを決めたワークショップなど

- 公園でフリーマーケットを開催
- 世代間のマッチングを行う
- スマホ講座ができないか→③と関連
- 空き家の活用ができないか→④と関連

②ボランティアの担い手が少ない

★学生、親世代、定年後などの活躍の場として、ボランティア活動に参加(スマホサポーターなど)

- シニア向けの部活動支援を文化系から始める
- 有償ボランティアを増やす
- ボランティアセンターがつなぎ役になる

③情報が届きにくい

●スマホサポーターを養成する

- ★スマホサロンを開き、若者と高齢者の交流機会にもつなげる
- ★分かりやすいワンストップの相談窓口をつくる
- ★チャットボットなど多様な相談の種類をつくる

④空き家が増えている

●交流の場として空き家を活用する

例えば…

空き家でスマホ交流会や子ども食堂を開催し、支援者と利用者で教え合うなど

- ★防災備蓄を置く
- ★空き家バンクをつくる

★重点的に取り組みたい解決アイデア

- ★つながりを生み出すための交流の場づくり
- ★スマホの使い方を学ぶ機会の充実
- ★ボランティアの担い手の活躍の場の提供
- ★空き家の有効活用

- ★ホットライン(相談窓口)の充実
- ★防災対策の強化
- ★世代間のマッチングに向けた対策の充実

2. 北東部地区

北東部地区の重要な困りごと・良くしたいこと

①つながりが弱い・交流の場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流、仲間づくりの場や地域の情報が不足している 多世代をつなぐ地域づくり、住みやすい地域づくりが必要 5年前に比べて、横のつながり、交流ができてきたのはよいが、依然として世代間交流をする場がないなど交流の場が少ない
②ボランティアの人手不足	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動、地域活動に人手が不足している
③困っている人の情報がない	<ul style="list-style-type: none"> どこに要援護者がいるのか分からない 誰が困っているのか、情報が届いているのか分からない
④ヤングケアラー、子育て支援の問題	<ul style="list-style-type: none"> 実態が把握できていない ヤングケアラーのみではなく、子育て世代向けの緊急ショートステイや多文化共生の視点など、新たな課題が出てきている

●解決アイデア

●…解決アイデア

★…重点的に取り組みたい解決アイデア を示しています。

①つながりが弱い・交流の場が少ない

●月に1回テーマを決めて交流の場をつくる

●趣味、文化的な関係からの仲間をつくる

例えば…

公的なはつらつサロンの卒業生から、自発的な活動が生まれた例もある

●自主防災組織をつくり、地域のつながりをつくる

★意識的に交流の場を広げていく

★若い人と共に多世代をつなぐ地域をつくる

②ボランティアの人手不足

●子どもの頃からボランティアを経験して、地域と関わる機会をもつ／地域とのつながり方を体験する

③困っている人の情報がない

●挨拶をするなど、まずはできるところから始める

★各団体がつながり情報共有をする

●情報伝達の方法を確認する

④ヤングケアラー、子育て支援の問題

●学校での全数調査を実施し、状況を把握する

●子どもの緊急ショートなども充実する

●ヤングケアラー、多文化、不登校など。新しい課題への支援体制を充実する

★子どもが安心して暮らせて、子育てしやすい地域づくりを進める

★重点的に取り組みたい解決アイデア

★意識的に交流の場を広げていく

★若い人と共に多世代をつなぐ地域をつくる

★各団体がつながり情報共有をする

★子どもが安心して暮らせて、子育てしやすい地域づくりを進める

3. 中部地区

中部地区の重要な困りごと・良くしたいこと

①集まる場がない・交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が出て行ってしまい、世代間の交流ができていない ・交流場所がない、少ない
②自治会がない・地域活動への参加が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会のないところが増えている / ・役員のなり手がいない / ・地域に対する意識が足りない ・若い人の地域参加、担い手が少ない / ・地域に対する意識が薄い、つながりが弱い ・ご近所の顔を知らない
③困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がどこで困っているか分からない / ・見守りが必要 / ・キーパーソンが必要
④情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が少ない / ・困っている人に情報が届いていない ・防災の情報が提供してもらえない / ・相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい

●解決アイデア

●…解決アイデア

★…重点的に取り組みたい解決アイデア を示しています。

①集まる場がない・交流が少ない

- 子ども食堂をだれでも食堂として、交流の場として位置付ける
- 若い人が集まれる場所を用意する、きっかけをつくる(子ども食堂などの実施)
- 清掃活動を市全体でやることで、若い人も含めた交流の活性化につなげる
- 空きスペースを活用する

②自治会がない・地域活動への参加が少ない

- 自治会での若手役員の活用や加入促進に向けた取組を行う(チラシ作成など)
- ★挨拶や防災など、小学校と地域で連携して取り組む

③困っている人の把握が難しい

- ご近所のつながりや声かけから始める
- 問題や課題をつなぐキーパーソンをつくる(市民・公的な人両方)
- ★既存ネットワークを活用する
- コミュニティづくり、声かけを行う

④情報が届きにくい(防災面の不安)

- 情報発信の方法を増やす(掲示板、SNS、ポスティング)
- 地域の情報を提供するような会、催し物を行う
- 避難場所の見学会を行い、問題点を把握する

★重点的に取り組みたい解決アイデア

- ★市全体の交流を活性化しよう！
- ★交流の場を一つのゴール(目的)にする
- ★挨拶や防災など、小学校と地域で連携して取り組む

- ★既存ネットワークを活用する
(地域協力ネットワーク、ほっとネット推進員、ささえあいネットワークなど)

4. 南部地区

南部地区の重要な困りごと・良くしたいこと

①地域のつながりや交流機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場が少ない / ・地域のつながりが弱い ・参加する方と運営・実行する方を選ぶのが難しい ・自治会の解散、自治会がなくなってしまった ・様々な人との連携が必要
②情報がうまく届かない	<ul style="list-style-type: none"> ・知りたい人に知りたい情報が届いていない ・情報がうまく届かない、届いていない
③買い物が不便	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物、坂道が多い。 / ・交通問題。はなバスルートが通っていない ・交通が不便な地域であり、買い物に不便を感じている ・買い物問題の解決が必要 / ・買い物支援が必要
④防犯・防災面のいざというときの対応が不安	—

●解決アイデア

●…解決アイデア

★…重点的に取り組みたい解決アイデア を示しています。

①地域のつながりや交流機会が少ない

- ★空き地、公園、団地の敷地内、福祉会館などでマルシェをする
- 学校を中心とした地域づくりをする
- 日頃からの声かけ、見守りを行う

③買い物が不便

- 商店で買ったものを運んでくれる手伝いをする
- ★移動販売車や買い物バスなどを運行する
- はなバスのルートの見直しを行う

②情報がうまく届かない

- ★若い方に協力してもらい、スマホの使い方を伝える(スマホ教室の実施)
- ★情報がまとまったものをつくるなど、情報が回るコミュニティづくりを考える
- 警察、消防など関係者と連携して、情報が伝わっているかの確認を行う

④防犯・防災面のいざというときの対応が不安

- いざというときの「黄色いハンカチ」や、インフラが麻痺したときのために地図づくりを行う
- 公園や子どもが集まる場に防犯カメラを増やす

★重点的に取り組みたい解決アイデア

- ★新町福祉会館等を活用したマルシェの実施(買い物支援、防災、相談・活動PRブースなど、すべての拠点とする)
- ★自分の目で見て品物を買いたいというニーズをサポートする取組の実施

- ★若い方に協力してもらい、スマホの使い方を伝える(スマホ教室の実施)
- ★情報がまとまったものをつくるなど、情報が回るコミュニティづくりを考える

Ⅲ 伊藤副委員長からの講評（要旨）

1. 全体的な共通点（課題）

- つながり・交流・集まる場がない（全地区）
 - ・「場所」があっても使いづらい。
 - ・「機会」では、自発的に参加するものと自治会などの強制的に参加するものがある。強制的であるがゆえに、わずらわしさを感じて自治会が減ってきた。一方で、自治会がないことが課題であるという意見が出ている。やはり強制的な集まりも必要なのではないか。
- ボランティア・担い手の不足（3地区）
 - ・「後継者」がいなく、いつも同じ顔が集まっている。
 - ・「若い世代」がなかなか入ってこない。
- 情報が届きにくい（全地区）
 - ・「スマホの操作」では、コロナ禍で ICT・デジタル化が進んだ。良い面もあるが、操作は難しい。
 - ・「掲示板の減少」という意見もあった。
 - ・必要な人に必要な情報が届かないという意見や支援を必要としている人がどこにいるか分からない、情報がないという意見もあった。

これらの課題は全部つながっている。

2. 地区ごとの特徴（課題）

他の地区では出ていない特徴的なものについて。

- 北東部
ヤングケアラーなどの支援、異文化・異言語、不登校など、困っている方がどこにいるのか分からないし、支援しなければいけない。見えない問題に対しての配慮が出ていた。
- 中部・北東部
困っている人の把握が難しい。具体的には、自治会が少ない、一軒家とマンション間の交流が少ないなどの意見が出ていた。
- 西部
空き家が増えている、怖い・危ないという心配ごと。しかし、空き家がアイデアのキーにもなっており、ピンチをチャンスにするという意見が出ていた。
- 南部
買い物が不便、店が少ない、坂が多い、はなバスが通っていない、駅が遠いなど、地理的な問題が出ていた。
- 全地区共通
市内の交通の便が悪いという意見が出ていた。

3. コロナ禍による影響

●ソーシャルディスタンスを守るため、必要なつながりがつなげられなくなった、社会的な孤立が進行した、問題が悪化したことが懸念されている。

⇒自転車のマナー、見守りが充分にできない、外出しなくなった、連携が取れなくなった。

4. 地区懇談会から見た問題～現代の社会問題との関係～

懇談会で話していただいた内容は生活上の困りごとであるため、生活問題という。生活問題は、個人的な問題として捉えられがちである。

【現代の社会問題】

- ▶ 少子高齢化・・・核家族、人間関係の希薄化、労働力不足、老老介護
- ▶ 価値観の多様化・・・非婚、晩婚、家族形態の多様化、多就業
- ▶ 医療技術の発達・・・長寿、長期的医療・介護、出生前診断、命の選別
- ▶ グローバル経済・・・格差の拡大、非正規労働、女性・子どもの貧困



- ▶ 労働力不足・・・外国人労働者の急増、人権侵害、異文化理解、多言語情報
- ▶ 介護問題・・・高齢者虐待、社会的孤立(情報・支援が届かない)、ヤングケアラー
- ▶ 精神衛生問題・・・自殺、ひきこもり、8050問題、いじめ、児童虐待、DV、孤食
- ▶ 大規模災害、国際紛争、温暖化・・・移民、難民、環境破壊、エネルギー、食料問題等々

こういう問題を背景に我々の生活がある。

今回の地区懇談会で出た生活問題は、社会福祉では「社会問題としての生活問題」として捉える。

現代社会を背景に発生する普遍的な問題が、個々人や家族の置かれた状況に応じてそれぞれ個別的に表れる問題である。しかし、背景には社会的な共通した問題がある。

5年前と比べて深刻になったもの、まだ解決していないことを考えてきたが、少子高齢化もグローバル化も進行する一方なので、人間関係の希薄化や貧困の拡大は進行するばかりである。こういった社会問題が解決されなければ、生活課題も進行する一方である。

そのため、意図的かつ社会的な働きかけ(皆さんが取り組まれていること)が必要である。

5. 問題解決のために

①地区懇談会からの具体的なアイデア

●多世代交流

スマホサロン、だれでも食堂、自主防災組織など、多機能かつ多世代で交流できる場が必要。単発でやるのではなく、組織化、定例化して強制的な側面を持たせる方が持続的になるので良いのではないかと。また、横のフラットな人間関係のものが合っていると思う。

●空き地、空き家活用

マルシェを開催し、その中に相談や活動のPRの場を入れる。

移動バス・買い物バスなど、買い物に行けない方にこちらから行くためのアイデア。

●情報保障

ICTを活用したアイデアが出されていた。情報をまとめたものを作って回すというのもとても良いアイデアである。たくさん発信されている情報をすべて見るわけにはいかないなので、情報発信したものをまとめるのはいいことである。

●ネットワーク

人材がないとは言いが、十分なネットワークがある。これを横につなげていく。団体同士や既存のネットワークがつながるなど。

地域福祉のアンケートでは、ほとんどのネットの周知度が低い。西東京市のネットワークは十分にあるが、認知度が低く・必要な人に知られていない。周知を進めていけると良いと思う。

②市民・専門職、行政、それぞれの立場からの関わり

例)だれでも食堂。

・市民→実行主体。つながりをつくり、話をしたり、相談をして、精神的に支え合う役割。

・行政→場の提供、資金的な援助、掲示板設置の役割。

・専門職→行政や市民をつなげていく。スクールカウンセラーやCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が入り、何かあったときに相談できる体制が作れるとよい。

●誰がやるではなく、みんなでやる。これをソーシャルサポートネットワーク、ソーシャルキャピタルと言う。皆さんがつながることによって、安全な地域ができていく。健康の向上につながる。

⇒西東京市ではこれが作られているので、強化をしていく段階である。

③行政の仕事。地域福祉計画の策定。

新たな視点として示されているもの。

①つながりづくり

②相談体制づくり

③情報発信の工夫

④再犯防止と権利擁護(成年後見制度の利用促進含む)の取組

⇒ここが重点となってくる。

⑤地域包括ケアシステム構築の取組

本日いただいた意見を大切にしながら、計画策定を進めていきたい。

また、是非、今回知り合った皆さんがつながり続けてほしい。

参考資料

第1・2回では、各地区を4つに分け、グループワーク等を行いました。

各グループから出た意見(明らかな誤字・脱字と固有名詞の誤りを除き、原文のまま)をすべて掲載しています。

また、枠や【カッコ】で囲ったものは、模造紙上でまとめられていた内容を表したものです。

1. 西部地区

A:つつじグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	☆ 自治会・町会の弱体化④ ○ コロナの関係もあり地域のつながりがなくなった ○ 自治会がない。あるいは、弱体化しているので近隣の情報が得づらい	—
交流の場が少ない、周知されていない	☆ 世代間の交流が少ない② ○ 世代間交流を行う等のしかけを教えてほしい ○ 世代間交流を持つ方法 ○ 学校施設を、もっと開放してほしい	テーマ性を持った場の設定 ★ 公園でフリーマーケット開催④ ★ ボードゲーム開催② ★ ひとりで行っても誰かに会える場、立ち飲みバー③ ○ バザー、フリーマーケットなどの開催 ★ バザー、フリーマーケット、地域の方、高齢者の方との交流の場を考える① ★ workshop 語り合いの場を設定する① ○ 昔遊びを高齢の方に教えてもらう機会を作る
ボランティア活動	☆ ボランティアをして下さる方が少ない③	—

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアの高齢化(感染の影響?) ○ リーダー的役割の人が不足 ○ ボランティアをする人が少ない ◆ ボランティアの方の高齢化① 	
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 近所の状況が分からない① 	<p><u>孤立している人の発見にもつながる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バスの運転手が困っている人について一言呼びかける
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助け合い活動、支えてくれる所がわからない ○ 情報がつたわらない 	<p><u>情報を届けることにつながる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 回覧板を利用、お知らせ中心ではなく、困り事等自由に記載してもらおう① ★ 世代間交流、ヨーロッパ流のパーティーで知らない人と交流③ ★ 助け合い活動、支えてくれる所がわからない①
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 所沢街道に新しくできた交差点を横断しづらい(高齢の方が)② ◆ コミュニティバスを、もっと増やす。路線の見直しを図ってほしい② 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民同士でライドシェア(相乗り)
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の災害時対応は、どうしたらよいか ☆ 防災面で行政が旗を振ってくれない① 	-

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 空き家問題、空き家の活用① ☆ 地域包括センターのスタッフが足りない① ◆ デジタル化を進めたい① ◆ スマホが使えない② ◆ 公園が使いづらい(ボール遊び×、花火×など)① ◆ 公園の使い勝手をよくしてほしい① ○ 子どもの居場所が増えてほしい ◆ サロンのような場がほしい① ○ 子どもの居場所、高齢者の居場所作りを活性化させたい ◆ ボランティア休暇の制度があると良い① ◆ 高齢者が増えているのに、それに追いつかない① 	—

B:ひまわりグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自治会が無い。古い住人と新しい住人のコミュニケーションがとれない。治安悪くなった① ○ コロナ禍で飲食を伴う活動が減っている ○ 自治会がない 	—

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自治会が減っている① ○ コロナで自治会の学習会もできず、ますます交流ができない ☆ 住んでいる地域近辺に不審な人が出ても、なかなか近所の人に伝えることができない① ☆ 1人住まいの人に連絡が取れない。チラシ等入れても伝わらない① 	
交流の場が少ない、周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化施設が少ない ○ 高齢者の居場所がない ☆ コミュニティ、集会所が少ない① ○ 公民館等公共施設の利用が円滑にできない(予約しづらい) ○ コロナ禍で住民同士の懇親の場がなくなり、コミュニケーションが少なく孤立・孤独を感じる 	-
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ボランティアのなり手不足③ ○ 自治会、町内会の役員になる方が、いらっしゃらない(自治会・町内会解散) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアセンター等が、つなぎ役となり「ボランティアをしたい人」「ボランティアを求めている人」をつなぐ ★ 防災。今一度、地域の人と話し合っ、具体的に対策を考えていく【重点的に取り組みたい解決アイデア】④
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 誰が困っているかわからない① ○ 困っている人が、どこにいるかわからない ○ お年寄りが、具合が悪くなくても心配するだけで、お子さん方に連絡もできない。もっと話し合える事が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ SOSを受けとめる市や社協の窓口(福祉まるごと)を広める。 ○ 世代間の交流を増やす ★ 困り事を抱えている人に、もっと地域包括等の利用法を知らせていく【重点的に取り組みたい解決アイデア】④
相談窓口やサービスなどの必要な	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 情報(相談窓口)などが伝わっていない④ ☆ 各種福祉サービスや相談の窓口が、よくわからない① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 多様なホットラインの充実【重点的に取り組みたい解決アイデア】⑥ ○ 共同(地域単位)で陳情を提出

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 困りごとが、複雑になっていてつながりづらい ☆ 相談窓口がない① ○ 高齢者のネットなどが普及していない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口の一本化(ワンストップで相談できる)仕組みづくり ○ お年寄りの情報網を最大限活用しましょう。情報を集約する人が必要だが、今回集まった人たちががんばろう ○ 有償ボランティアを増やす(シニアの参加)
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 歩道が狭い① ○ 自転車ルール違反の事故が心配 ☆ 道路標識・路面標識、路面のひび凸凹つぎはぎ① ○ コミュニティバスの路線 ☆ インフラが足りない(交通)① 	-
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 犬のフンの不始末が多い① ◆ 特殊詐欺が多い① ○ ポイ捨てが多い(タバコ、缶等)(コンビニ前等) ○ コロナ禍で在宅が増え、ゴミの量が増加、ゴミ出しルールが、守られていないこと ◆ 防災計画が、地域でできていない② ◆ こわれた空き家が増えている② 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使える空き家は市や社協がどんどんマッチングする ○ 空き家を災害時の備蓄庫に ○ 空き家(室)の有効活用として「交流の場」をつくる ★ 空き家の有効活用！(空き家ボランティアバンク)②
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 家族介護者(ケアラー)への支援が足りない③ ◆ 認知症の方をケアする方のケアが不足している。相談する方が、いらっしやらない① ◆ もっと近くに図書館がほしい① ◆ 防犯カメラが、もっと増えると良い② ◆ 年齢による意見の感じ方に違いがある① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、市内に数か所だけある「ケアラーズカフェ」を増やす

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	○ コロナ禍で高齢者が出歩かなくなった ◆ 老害事故が増えている④ ○ 男性の高齢者が、街なかで威張り散らす(寂しいのか)	

C:コスモスグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	○ 町会・自治会がない。機能していない ○ 高齢者の孤立 ☆ 人とのつながり減② ○ 高齢者同士のつながり ○ 自治会でのまとまり ☆ 自治会のつながりが薄くなっている③ ○ 年代間の交流がない ○ 多世代の交流機会がない ☆ 自治会が衰弱。機能していない(後継者がいない)①	—
交流の場が少ない、周知されていない	☆ 子どもの居場所がない① ○ 地域の活動場所の確保が難しい ○ コミュニティの場所がない	<u>空き家、集まる場所</u> ○ 空き家を活用する ○ 空き家の活用

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントがない。コロナで ○ 新しいツールでの交流(オンライン) ○ 空き家が増えている ○ 空き家問題 ○ 集まりの場がない ○ コロナで食事会ができない ○ 学習会はできる ○ コロナ、外出できず運動不足、フレイル ◆ コロナに対する捉え方に違いがある① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家活用(行政が借り上げ) <u>つながり交流、世代間</u> ★ 多世代での交流が図れる機会(お祭り、ランチ会)などをつくる② ★ イベントをする。おまつり団地、児童館でのあつまり、子どものつながりなど世代間の交流② ○ 世代間交流のできる場所がほしい ○ お茶会、ランチ会ができなくても弁当持ちかえりで集まれるきっかけづくり
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ボランティアの担い手不足③ ○ 子ども食堂人手不足 ☆ 集まりでリーダーシップをとる方がいない② ○ サロン・サークル後継者がいない ○ 福祉教育の考え方 ○ 男性の活躍の場(定年後) ○ 世代間の考え方の違い(同世代の親同士のあつまりがない) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>担い手</u> ○ 既存、たすけあい活動 ★ 隣近所で連絡がとれる関係をつくる② ○ 情報は市報とゆめハートも一緒に出していただければよいかな ★ ちょっとした困り事。男性が活躍できる場があるといい① ○ ご近所がLINE でつながっている ★ 担い手、ボラ。定年退職後、引きこもりの人たちをつなげられるといいなあ③ ○ 畑農業の手伝いと交流・息抜き ★ セカンドライフに向けて定年前から考えてもらう① ○ 親父の会を盛り上げる ○ 若者が地域に出ていききっかけ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 困っている人がどこにいるか分からない ○ ⇒引きこもり、子育て世帯、高齢者、若者、独居←本人は困っていない 	-
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 必要な人に情報をどう届けるか① ○ どこに連絡してよいか分からない ○ 気軽に「ちょっと」と頼める関係性 ◆ スマホの使い方がわからない→情報たどりつかない① ○ 地域で気軽に教えられる関係 ○ 市が情報発信→受け取る側のことを考えてほしい ○ 学生にスマホの使い方を教えてもらえる機会(交流) 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 必要な人に情報をどう届けるか① 日常・災害時情報発信 ○ 防災無線の有効活用。安否確認もできるタイプ(聞けるだけでなく、元気だということを伝えるボタンみたいなものがあったらいい) ○ イベント情報の告知 ○ 床屋さん、美容院、ヤクルトさん、商店などで情報発信 ○ 近くの方々に声をかける。情報を教え合う スマホ・情報 ○ スマホ。いつでもきける場。スマホサロンのようなものができるといい ○ スマホは計画的に指導の方をお願いしたい ○ 定期的にスマホの勉強会を開く ○ 地域の人が教える機会を学校でもっていた ★ スマホ教室の機会交流を兼ねて近所の学生など② ★ スマホ、スマホサポーター育成①
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通手段がなく集りの場まで行けない ○ 道路の中が狭い ○ 道路が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物 ○ 買い物支援の(しゃくなげサロン)復活 ○ 買い物の移手段、交流を図る

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
防災・防犯面など いざというときの 対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路せまい、ゴミ、信号無視、高速自転車 ◆ 電動自転車、危ない② ◆ ネットスーパー② 	<p><u>道路・自転車マナー</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車教室。子ども向けにはある。大人向けは ○ 自転車危ないってことをどう伝えられるか。大人向け自転車教室
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 急速に発達した ICT 化についていけない人を、どうするか② ○ コロナ、自転車増、道路と置き場の整備 ◆ スマホの使い方わからず安否確認含め機能使えず③ ○ スマホの使い方、何でもそうなので ◆ マイナンバーカード作成。ポイントわからない① ◆ なんでもスマホでよくわからない。聞く人もいない② ○ マイナンバーがよくわからない(ポイントなど) 	-

D:はなみずきグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
<p>*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。</p>	<p>○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの</p>	<p>○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア</p>
<p>地域に対する意識が薄い・つながりが弱い</p> <p>*波線の意見は、一つのフセンに☆シールと◆シールが貼られているため、表記の都合上、分けて掲載しています。</p>	<p>○ 自治会に加入を ☆ <u>コロナによる関係性、連携が図れなくなった①</u> ◆ <u>コロナによる関係性、連携が図れなくなった①</u> ○ 町会への新規入会が少ない。入りにくい ○ 町会・自治会、結成率が低いまま ☆ 自治会がないので、新しく越してこられた方がわからない① ○ 町会の継承が困難</p>	<p>○ 近くで気になる事は伝えあう ○ アウトリーチについての認識 ○ 町内会がない地域に防災に特化したグループを行政主導で作る</p>
<p>交流の場が少ない、周知されていない</p>	<p>人・コミュニケーション</p> <p>◆ 年代によって情報の受け取り方が違う① ◆ 不登校児童の居場所が少ない①</p> <p>世代間交流</p> <p>☆ 世代を跨ぐコミュニケーションが弱い① ☆ 世代間の交流が少ない①</p> <p>場所</p> <p>○ 居場所が少ない。地域差 ☆ 集会場が少ない① ○ 集会場が少ない ○ 高齢化の進行</p>	<p>場所</p> <p>★ 新しく作る大型マンション、大型スーパーが近くに出来るその一角に地域の人が集まる場所を作るようにしてほしい①</p> <p>○ 感染症防止対策と経路を確認し、不要な不安解消 ★ 空き家を活用する(カフェ、不登校児の居場所)② ○ 空き家を不登校児の居場所として開放</p> <p>世代間交流</p> <p>○ シニア層の部活動支援(中学文化系クラブから) ★ 年代をこえて、ゲーム大会、環境学習を行う③ ○ 自由参加の定期的な集まり</p>
<p>ボランティア活動</p>	<p>○ リーダー的役割を担う人材が少ない</p>	<p>○ ボランティアの担い手、小学生・中学生でも出来るボランティ</p>

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ボランティアの担い手不足① ○ 助け合いに参加できる方が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> アがあるはずですが(どんなちいさなことでも) ★ やりたい事できる事を明確にする① ○ 小中学校のおやじの会の立ち上げ(まだない学校)
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 困っている人が、どこにいるのかわからない② ○ マスク装着による感情伝達困難 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報検索法を知る。つながらない→過多からの選択 ○ 当事者対応。一人より多くの者で
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 必要な情報につながらない① ◆ マイナンバーカード、情報不足で迷っている① ○ 市の情報発信が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 既存団体・機関の周知①
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車が乗りにくい ☆ 道がせまくて歩きにくい① 	-
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 災害時の具体的な対応の周知(集合住宅)① ◆ 防犯カメラの設置数が少ない③ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災で行く場所が遠いです。空き地も使用できるようにしてください ★ 防犯カメラの件(補助金のこと)① ○ 近所の方々に声かけをする
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 諸計画の課題が改善されているか① ◆ スマホ対策、使い方の講習① ☆ 道路に種々のゴミ捨てをしています① ○ マナーの悪さ、バス停がゴミの山です ◆ ゴミがすてられている② 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路の清掃はやる人はやるという状態です スマホ ○ スマホの操作実施(無料)事業者を知り活用(スマホ業者) ★ スマホの使い方の講習会(若い人から老人へ)③ ★ 学生ボランティアの協力による実践的な高齢者向けスマホ講座②

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポイ捨てが多い ○ 共働き世帯のケアが不十分 ◆ 役所の手続きの電子化(インターネット化)が不十分① ○ 地域活動の助成金が少ない(額、機会) ◆ 公的施設の Wi-Fi 整備が充分でない② ○ 道路標識をきちんと(見えにくい) ☆ 交通ルールを守らない① ○ 自転車のルールが守られていない ○ 制限が増え公園が使いづらい ◆ 空き家の心配② ○ 空き家対策 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども食堂を利用する子どもたちが高齢者にスマホ講座をする <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報周知の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ コンビニに地域イベントのポスター掲示やチラシ設置を許可してもらおう①

2. 北東部地区

A: つつじグループ

項目 * 文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの <ul style="list-style-type: none"> ☆ 地域のつながりが薄い③ ○ 近隣・仲間で助け合う時代 ○ 地域のつながり ☆ 地域にいる民生、ほっとネット、見守り、認知症ボラ・防災ボラの集まり、横の連絡を取り、一人暮らしを助ける① 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア <ul style="list-style-type: none"> ★ 校区で地域連絡会を開催する(警察、危機管理、児童館、小学校PTA、地区委員、民生委員等)① ★ 介護保険を利用している方の中に、雨戸の開け閉めや、ゴミ出し等の簡単なものも利用しているので地域ボランティアへと移行していくと良い② ○ サロンなどが助け合い活動、見守りを行う
交流の場が少ない、周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家の活用 ○ 多世代交流の場が少ない ○ 転入者との交流方法がわからない ○ 集まれる場所の確保が困難 ○ サロンの活動場所がない ☆ 気軽に集まれる居場所がない② ○ 地域の活動(例:サロン等)の場所不足 ○ 地域住民が気軽に集まれる場所が少ない ○ 地域住民の活動場所が少ない ○ 1人でも気軽に参加できるコミュニティがほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ★ サロン等やりたい方には積極的に場所を貸す②
ボランティア活動に取り組む担い手が不足☆①	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア活動への若い担い手がいない(スタッフの高齢化) ○ ボランティアの担い手が不足(後継者が探せない) ○ 民生委員のなり手が少ない。余裕がない ☆ 地域活動をするにあたっての人材の高齢化① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアの募集・周知(退職後の方)など ○ ボランティアのポイント制

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人暮らしの対応(情報が入ってこない) ○ 孤立・孤独になっている方がいる ○ 成人～65歳の方々の困り事の把握が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気・ガス・新聞等の業者さんと連携し危険な家を見つける
交通の便が悪く、買物や通院に不便☆①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政への相談窓口の情報が届きにくい ○ 個人情報との壁で地域内の他グループとの交流がない ☆ 必要な方への情報が届けられない② ◆ 情報発信が縦割り(複雑)で全体を把握しにくい① ○ イベントがあるときにどこが主催しているか分からないときはどうする ○ 必要な人へ必要な情報を流すのにはどうしたらいいか ○ 口伝えに頼らず支援が必要な方に情報を届けたい ○ 情報の提供、周知の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政の相談窓口の広報と成功例の広報 ○ ふれまちの活動等をチラシや言葉などで少しずつでも地域の方に伝えていく
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 交通の便が悪い(中町)、買物② ○ 高齢化と共に日常の移動が困難になっている ○ 交通の便が悪い ○ 公共施設に行きにくい。どうしたら参加出来るの ☆ 交通が不便。タクシーも予約が出来ない① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に合ったネットスーパーの活用を進める ★ 買い物難民。包括支援センターの送迎車の空いている時間を使用する①
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者を対象とした防犯対応① ○ 防災無線が聴こえない(北町) ☆ 防災スピーカーが良く聞こえないのでうるさいばかりだ。要検討① 	-

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの <ul style="list-style-type: none"> ☆ 地域活動の団体同士の横のつながりがほしい② ◆ ボランティア団体の取組を多くの人に知ってほしい。必要とする方に知ってほしい ☆ 空き家が多く、通学路に不安① ☆ 複数の問題を抱えた家族がいる① ○ 空き家のこと ○ 包括的な支援のできる所(子ども～高齢者まで) ◆ ヤングケアラーの早期発見③ ◆ 不登校等子どもたちへの支援体制① ○ ヤングケアラーの把握 ☆ 子どもの相談場所。既存のものでは不十分(夜間、休日)① ◆ ヤングケアラーの把握が難しい③ ◆ 異文化、異言語家庭への支援③ ◆ 若い世代の声を聞く機会・方法を工夫する② ○ 子どもの相談先、土・日・祝の体制、数などが足りていない ◆ 子育て世帯への手助け体制② ○ 引っ越して来た人への対応 ◆ 夜間・休日に何か困り事がおきたときの対応① ○ いざというときにセコムがしているような、握るだけでつながるようなことを行政で考えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア <ul style="list-style-type: none"> ★ 通訳の出来る人材の育成と発掘。その国の事、国民性をふまえて通訳が必要② <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点的に取り組みたい解決アイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 子育てについて。包括支援センターの空いている部屋・空き家を使ってサロンをつくる。ショートステイ③ ★ 誰でも来れる場所を作ると同時に話が聞けるような場所に向向していく方法→その後どうしていくか地域だけでは無理② ○ 学校でアンケートを取る ★ ヤングケアラーの早期発見のアンケートを学校でやる④ ★ 不登校の子どもや時間を守れず親の都合等で登校できない子どもたちへの支援① ○ 学校での校庭開放、あいさつ運動で子どもの様子を見る ○ 生活困窮の支援者の体制拡充 ★ 子育て、軽度障がい者。空き家利用によるグループホームづくり①

B:ひまわりグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
* 文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 独居老人とのつながり、助け合い① ○ 市民の関心が薄いのは、広報・注意喚起が弱いのでは。HPは公式すぎる。SNSも高齢者には？ ○ 多様性も理解しつつ多世代で支える地域の力が必要 ○ 市内に多くの活動があるが、互いに活動の内容を知らない。連携・協力が少ない ○ 若い世代に地域での活動に参加してもらえるような関わりを作れたらよい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館で講座を開く
交流の場が少ない、周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 各所で行われている交流のカフェを様々な施設内にて行うことで交流をはかる① ○ 空き家が多い。その対策 ○ 高齢者と若齢者との定期的交流を行政システムで構築 ○ ボランティア団体同士の交流。情報共有 ○ 本日の参加者、若い人が少ない ○ 居場所それぞれ交流増やしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ★ それぞれの団体同士がつながる機会をつくる(ジャンルや担当部署を越えて)② ○ 新規住宅地住民向けに近くファーム(農場)でブルーベリー摘みを行う ○ 高齢者に若者がPC・スマホを教える場を設ける ○ 大学生の活躍を促す。勉強、趣味を教える ★ 会ったらあいさつをする基本を確認① ○ 何はともあれ時々会う人には頭を下げる。話しやすい感じが大切では
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 人手不足、担い手不足③ ☆ 女性ばかり① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多世代で関わる場所やイベントをふやす。PC・SNSの活用にいかす ○ 保険入会を確実にしていることを、ボランティアを募る際に明確にすれば、力をもっと得ることができると思う ○ 地域活動に子どもが参加できる仕組み

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域の中で困っている人の把握が難しい☆①	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 実際に困っている人が、周りにいるか分からない→行動につながらない② ☆ 相談窓口に行くのではなく来てくれる仕組み① ☆ 必要な情報が届かない① ◆ ヤングケアラー支援② ○ 子ども食堂に高齢者も入れて 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報伝達の確認 ○ サロン、ボランティアをする際の保険の周知。安心してボランティアになれるように <p>重点的に取り組みたい解決アイデア③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に困っている人が、周りにいるか分からない→行動につながらない ○ 相談窓口に行くのではなく来てくれる仕組み ○ 必要な情報が届かない
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出向いていかないと支援は受けられないことがほとんどなので、逆に来てくれて手を差し伸べてくれたらと思う ◆ 高齢者も子どもも24時間いつでも市内で対応できる場所と人が必要① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に市全体での取組(進捗)を発信する
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内公共施設への交通の不便 ☆ はなバスの活用① ☆ 買物がしにくい地域がある① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 買物がしにくい地域がある② <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ はなバスをひばり北口～北町～保谷間に走らせる② ○ 買物マルシェを増やす ○ マルシェの活用、回数と場所をふやしていけたら
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 情報伝達機器の充実① ○ 防災無線もっと有効活用 ☆ 災害時すすんでいない。縦割り① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 情報伝達機器の充実② <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 該当する課に連絡。実地検分し早急に対処して頂く。情報伝達方法の拡大

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
そのほか	◆ 不登校児をどう見守るか② ○ 不登校支援 ○ 若い世代の声が反映されていない(教育費が高騰) ○ 若齢者・児童の声を市政に反映させる仕組みを創る ◆ 外国人、異文化の方への支援・理解① ◆ ボランティアの責任問題① ◆ 色々な問題はあるが、私たちが自助・共助で、どうすれば良いか分からない(公助の基盤づくり)①	★ 若い人が興味をもてる自治会づくり① ○ 小学生や中学生によるゲームなどを指導(大人へ) ○ 若い世代の人が興味を抱くような自治会づくり <u>公助</u> ○ 垣根をこえた行政の取組 ★ 行政と一体となって働く。行政の公助の役割を確認② ○ しっかりした現状認識・講座 ○ 行政が実施している地域力強化策(公助の役割) ○ 徹底的な反省会を開く。批判ではない反省→改善へ

C:コスモスグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	○ 自宅で、地域で死にたい ○ 孤独死(普段付き合いが無いので顔も知らない) ☆ 高齢者の孤独化進んでいるのに必要な情報が届かない① ◆ コロナ禍、人間関係の修復「密」⑥ ☆ 独居老人とのコミュニケーション不足① ☆ 町内会・祭り地域の行事がなくなり、つながりが希薄になって	○ 老人に保育園訪問してもらおう(幼稚園はムリかも)

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	いる②	
<p>交流の場が少ない、周知されていない</p>	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親密な人間関係を築きたい ○ 世代間の交流のあり方 ○ 自発的な仲間づくり ○ 異なる世代、世帯との関わり交流の機会、場が無い ☆ 近くに集まる場所がない(集会所等)① ○ 世代間(若い方)交流がない(行事等をつくりたい) ☆ 多世代交流が難しい① ○ 男性のリタイア後の地域へのつながりづくり <p>周知・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イベント広報の周知 ○ 地域の情報伝達を考えたい ○ 市民の間では様々な活動をしているのだが、それを市民に周知する手立てがない <p>活動場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域交流の場所が少ない、遠い ○ 個人情報の壁、気になってもそれ以上立ち入れない ☆ 居場所づくりが進んでいない① ○ 公共の集う場所が少ない ☆ 町内会、老人会がない② 	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 公共施設における仲間づくり① ★ お元気なお年寄りによる子育て支援の仕組みづくり① ★ 老人へのお手紙を小学生に書いてもらう① <p>活動場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の空き教室を使用できないか？空き家の利用 <p>周知・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リアルな「困った」という声を SNS からタイムリーにつかむ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小集団、数人の集まりは増えているか ○ 若い世代がパパ友で地域につながっている 	
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<p>ボランティア・地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 人手不足、民生委員のなり手、若い世代の関心を④ ○ 民生委員サポーターシステム変更 ○ 生涯学習、生き甲斐、社会貢献 ○ 地域や社協に協力してくださる市民のつなぎ ○ サロン活動の場所確保に苦労している。公的応援をいただきたい ○ つながるきっかけ、団体間のつながり、交流がほしい ○ このような課題を若者と取り組みたい。若者に参加してほしい <p>活動団体ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ほっとネットを広めよう① ○ 活動団体の内容広報 ○ 担い手不足 ○ 次の世代に地域活動をつなぐシステムがない 	<p>ボランティア・地域活動 【重点的に取り組みたい解決アイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 小さなときからボランティアの経験をする(定期的)③ ★ ボランティアへの意向をもたせる教え方が要る① ○ その家が世襲する方法も ★ 小さなボランティアから始めてもらう② ★ 趣味・文化的な関心による仲間づくり① ★ 農家さんからの食文化交流① ○ 民生委員から見た地域を知りたい ○ 地域活動(育成会、わくわく等)と共有できるとよい。情報交換
地域の中で困っている人の把握が難しい	<p>課題の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヤングケアラーがいるかも ◆ 子育て世代のリアルな困り事。必要に迫られていることが、なかなか行政に届かない① ◆ 成人の引きこもり家庭内の悩み、ヤングケアラーの姿が見えない① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 近所で気になる方に声を掛けるおせっかいを広めたい①

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国にルーツを持つ家庭のお子さん、なかなか把握できない① ◆ ヤングケアラーは間違いなく市内にも多くいるのに、その実態がつかめていない① ○ 社会の変化←地域変化していくのでは 	
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<p><u>必要な情報を伝える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見守りをしてくれる行政が分からない ○ 何かあっても相談できる所がない ○ 情報の共有が出来ない。横のつながりが難しい ○ 広報・SNS・ホームページ・Facebook・口コミだけでない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 情報化社会における地域づくりとは①
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<p><u>交通</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ はなバス増便して① ○ 都心へのアクセスは便利だが、市内を移動する交通の便が悪い ○ 市内の交通の便が悪い ○ 公共施設への交通の便が悪い ○ スーパーが遠い、重い物を運べない 	—
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<p><u>空き家</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 空き家が多い(中町)① ☆ 空き地は、どんどん住宅が建っていく。市民にとって必要な公共の居場所作りをしていただきたい(ひばり中、保谷庁舎後は)① 	<p><u>空き家</u> 【重点的に取り組みたい解決アイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 空き家の利用を活用④ ○ 空き家活用(借り上げ等)近くだった方、集まれるのでは

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
そのほか	○ 高齢者宅に振り込め詐欺の TEL 等が多くなった サービス制度の充実 → 守秘義務カベ ○ 子ども、高齢者縦割り窓口。面で地域の困りごとを相談できる場所があれば良い ○ 子ども家庭支援センターに求められる業務は年々増える一方にもかかわらず土・日に対応することも出来ず人員も足りない ◆ 指定ゴミ袋不足の対策は④	—

D: はなみずきグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	○ 他世代との交流 ☆ 世代間の交流する場がない② ○ 子ども食堂に老人達も行ける様に ○ 世代間交流 ○ 1人暮らしの人との交流は難しい ○ 地域の見守りの輪を広げてほしい ○ こういう会への若い人の参加を促す ○ 近所付き合いが希薄	○ 月に1回テーマを決めて集まり意見を聞き合う ○ 自主防災組織の立ち上げ(自治会がない地域) ★ 同じ方向を向くこと、福祉に関わる人たちは、みな同じ一直線上なので、やはり意識を持っていく① ★ 各地域でボランティア活動しているメンバー交流の場がほしい②

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
交流の場が少ない、周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域とのつながりが持てる機会を増やす② ○ 地域のみんが日常的に顔見知る必要。あいさつで仲間を増やして欲しい ○ 無料塾との横のつながり情報がほしい ☆ 誰でも集まれる場所作り② ○ 集まる場所が少ない ○ 多世代の人との交流が必要 ☆ 気軽に集える場所がない① ◆ ひとり暮らしの人との交流が難しい② ☆ 一人暮らしの対応。いざというとき助け合える人① ○ 社会参加への必要性 ○ 無料塾の横のつながり、情報がほしい ◆ 外国人との交流② 	—
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 人手不足① ◆ 産官学民の協力が必要。魅力的なボランティアにする① ◆ フレイル予防という言葉認識していただきたい① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 民生委員とほっとネット推進員の協力① ★ ボランティアを魅力的なものに。横のつながりが大事①
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 地域の見守りの輪を広げてほしい① ◆ 地域の問題が見えにくい① ◆ ヤングケアラーが見えにくい① ☆ 空き家が多い。見守りが必要(雪が降ったときに困る)① ◆ 空き家問題① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 散歩して仲間を増やす①

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 広報の仕方、工夫が必要(もっと)② ○ 誰にでもわかりやすい広報 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公助わかりやすい相談窓口名称 ★ 様々なイベントを知らせる広報のしかた、地域とつながる人があれば①
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 公共施設が遠い② ☆ 市内の交通の便が悪い① ◆ 市内の交通の便について① ○ はなバス運行増加 ☆ 市の交通の便が悪い① ○ 買い物難民の増 ○ 買い物難民 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 公助バスの本数を増やしてほしいです③ ○ 買い物支援←すでに実行されている所あり。市の支援があれば良いのだが
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災無線が聞きづらい① ○ 避難所が遠い ☆ AED の場所がわからない① 	-
○ そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏祭り、花火大会は続行してほしい。寄付のしかた ☆ 認定農業者という認識が一般に徹底していない① ○ 同居の高齢者への福祉サービス ○ イベントが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 夏まつり(花火大会)商工会への協力。なるべく地元の商店を利用する① ★ 認定農業者と同じように商店、工務店等も優良、安心して利用出来る様、紹介があればいいのだが①

3. 中部地区

A:つつじグループ

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い☆⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの <ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会がない ○ 自治会の役員を、みんなやりたがらない ○ 自治会がないところでの、人とのつながりをどうしたら良いか ○ マンションの居住の方、コミュニケーションがとれない ○ 町内会が組織化していてコロナ禍でも連絡がとれやすい ○ 古い家がなくなり、新しい人が入ると街の雰囲気が変わる ○ 町内の活動内容が伝わっていない ○ 人とかかわりを嫌がる人がいる ○ 核家族、少子化で親世代から子世代のバトンタッチが出来ていない <p style="margin-left: 20px;">自治会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活にいっぱい、いっぱい ○ 行政としても手を打っていない ○ 若い人もやらない 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア <ul style="list-style-type: none"> ★ 町内会がないところに、発起人を立てる① ★ 市から自治会の大切さ、良さを積極的に伝えてほしい(自治会のない新興住宅の人たちにアンケートをとる)① ○ 新しい自治会を作るヒントとして、お手伝い会を設ける ○ 防災目的の地域の組織化 ★ 自治会若手役員加入促進チラシを作成する③ ○ 町内会の若い人バージョンをつくる
交流の場が少ない、周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> ○ コール田無等定まった曜日に日が取れない ○ 交流できる場所の情報がない ○ (公の場)集会所が古く階段もあり高齢者が使いづらい ○ 皆が話し合える懇談の場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気軽に集まれるイベントの開催 ○ 小学校や中学校の学生の交流活動 ○ 地域井戸端会議を協働コミュニティ課内に設ける ○ 交流するきっかけ作り。例えば子ども食堂。地域での避難訓練

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
ボランティア活動に取り組む担い手が不足☆③	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域の中で困っている人の把握が難しい☆⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲良くしていたのに、最近見ないと思っていたのを後で知る ○ 引きこもりの方がいても、手助けを拒まれる ◆ 一人高齢者住まいの方の悩み解決。聞く事と解決策提供① ○ 個人情報が厳しくて、詳しく教えてもらえない ○ 一人暮らしのため交流がない ◆ 困った事があつたら手を上げて良いという風土作りが必要① ○ 孤独死に対する対応 ○ 高齢者一人暮らしの見守り方法(安心時バスタオル出している) ◆ 地域内で家の修理等出来る技術者リスト作成し回覧する(相談者)① 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流の活性化にもつながる解決アイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 子ども食堂もだれでも食堂に(孤立化防止)④ ○ 誰でも OK な食のサロン ○ デイサービスでお昼ご飯だけ食べて帰る人枠を制度としてつくる ○ キッチンカーのまわりでテーブルサロン ○ ケアカフェ拠点が、あるといい(高齢、障害、子ども関係なく) ★ 困っていることを書いてボックスに入れる② ○ 危機管理課の緊急情報キットを一人暮らし家庭へ配付し、活用方法のアドバイスを民生委員、自治会で応援する ○ 困り事対策に、地域内で技術者 OB 人材リストを作成 ○ SNS 利用の講習会
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の保証人、緊急連絡先を決めること ○ 行政が縦割りになっていてスムーズに事が進まない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示板を立てて地域の情報を告知する。市報のみでなく見せるものが必要
交通の便が悪く、買物や通院に不便☆①	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 商店街がなくなり買物に困る高齢者がいる① ○ 買物に御用聞きがほしい ○ バス路線がわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元の小さなお店がつぶれている。地域で買物をする。市も補助

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
防災・防犯面などいざというときの対応が不安☆④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 銀行・市役所などかたまっていて行きにくい ○ 自転車の量が多くなってきて高齢者の事故が多い ○ 自治会がない。防災・防犯面が不安 ○ 防災を目的とした地域のつながりがほしい ○ 火事発生、消防車が入れない道路がある ○ 地域防災・防犯パトロール促進 ○ 年末防災パトロールをしている ◆ 道路清掃を通して近隣の住民との付き合い促進③ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察の見回りと地域の人と一緒にまわり課題を見つける ★ 町をきれいにする。清掃活動を決めて西東京市全体で取り組む③ ★ ゴミ置き場の管理を通して隣近所との交流を高めていく(ゴミ置き場)② ○ 決まった日に清掃活動
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 西東京市の名物がない④ ◆ お祭りなどが開催されない① ◆ 身体の元気な認知症の方が増えた① ◆ パソコン等わからないとき若い人に聞く機会がふえた① ◆ 料理名が横文字になり、わからない① ○ 老人と若年層との会話が、かみあわない ○ 街の清掃をすることで地域の交流が生まれ、住み良い、安全な街になる ○ 町をきれいにする活動をしたい。5/30ゴミゼロの日 ○ ゴミの不法投棄に困っている ○ 犬の散歩のマナーが悪い人がいて道路が汚れていることが多い ◆ SDGs の取組を、もっと強化したい② ○ 若者(学生)が楽しく過ごせる場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お祭りを町内会で取り組む。昔の山車みたいに町内をめぐる ★ 誰でもつながれる集合場所、サークルをつくる① ★ 町をきれいにする活動をしたい。5/30ゴミゼロの日①

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	◆ 若い人が住み易い街になったらよいと思う②	

B:ひまわりグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い☆④◆②	☆ ご近所の顔も知らない。関わり合いがない① ○ 先ずは、あいさつからはじめよう ○ コロナ禍で、目に見える町会活動が出来ない ○ それが問題と気づかないで暮らしている ○ 地域にどんな人が住んでいるのかわからない ○ 生活の中で、何かつながるものを見つける ○ 共助という精神が必要 ○ 助け合いのコミュニティづくり ○ 地域で助け合う気持ちの醸成 ○ バザー的なもの(あげる、もらう) ○ 働きたい人へ仕事を提供したい ○ 近くに住んでいる人との関係 ○ 「おせっかい」が必要なときも	★ まずは隣人と、あいさつをしましょう① ○ コミュニティづくりからはじめましょう ★ とにかく挨拶から始めよう① ○ 隣人と共存、共生する努力 ★ 遠い親戚より近くの他人。隣近所と仲良くしましょう①

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
交流の場が少ない、周知されていない☆①◆①	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者と子育て世代を分けず集まれる場をつくってほしい ○ 交流の場所として利用して頂きたい ○ 地域交流をしたい ○ 集まる場が増えると良い ○ 地域のお店がなくなってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア <ul style="list-style-type: none"> ★ 自治会とマンション管理組合との交流③ ○ マンションの理事会も町内会に入ってもらおう ○ 居場所づくり(サロン) ○ 町内会と民生委員のつながりを密にする ○ 地域で集まるチャンスを作る(町内会) ★ 何でも話そう地域交流会① ○ おまつりを増やす(親子で) ★ 声かけ(あいさつ)をわすれない① ○ 町内会の回覧をしっかりとまわしあう ○ 回覧をまわす。おとなりの方へ手渡しをして会話の機会にしてほしい ★ 地域の民生委員さんが発起人となって会を開いてほしいです①
ボランティア活動に取り組む担い手が不足☆①◆①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町会役員の員数不足 ○ 若い世代の住民に町会活動への参画意識がない ○ 若い方達に参加する機会をあたえて意識をたかめないと、なかなかボランティアをしようとまで思えないのでは ○ 後継者がいない ○ 民生委員の欠員が多い ○ 地域活動に参加したい 	<ul style="list-style-type: none"> ★ お互いの取組に参加する①
地域の中で困って	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の名簿、一人暮らし、困っている人の情報がつかめない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 本当に困っている人は声をあげない①

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
いる人の把握が難しい☆②◆③	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい☆①◆③	<ul style="list-style-type: none"> ○ マンションの住民とのコミュニケーションが取れず困っているか知るべきがない ↑新しく入ってきた方多い ○ 町会がないので情報がない ○ 個人的に民生委員をしているので情報が入ってきていると思うが、それを伝えるすべを持ってない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 市役所になんでも相談室をつくる① ★ 地域情報提供会③ ★ 市役所に、なんでもやる課①
交通の便が悪く、買物や通院に不便◆①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路整備が悪く、高齢者の歩行器、車椅子での移動が危険 	-
防災・防犯面などいざというときの対応が不安☆③◆④	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災の情報が地域でつかむのが、むずかしい① ○ 防災に担当する人を決めた方がよい ○ 避難所協議会に昨年発足したばかりなので進めていきたい ○ 防犯カメラが増えると良いかも ○ ご近所と一緒に散歩。防犯パトロールになる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校(校長)とのつながりで防災対策
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域に博物館を創りましょう① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 避難所の見学会、自分たちの地域がどこなのか。井戸水の使用は。知りたいことばかりです②

C:コスモスグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会がない ○ 引っ越して来た方が町内会等に入りたがらない ☆ 転居された後に転入した人に自治会加入の話をすすめたが、加入むずかしい① ○ 町内会がなくなった ◆ 旧住民と新住民のつながりが弱い① ○ マンションの方とコミュニケーションがとりにくい ○ 小さなイベント、おまつり増やす 	-
交流の場が少ない、周知されていない☆①	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 元気で認知症の方の見守りを、どうシステム化するか① ○ 若い世代とのつながりが希薄 	<p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ オープン化(入りやすさ、セキュリティ考慮)① <p>共助</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 交流の場マップを作る(公民館その他の公的場所にはり出す)① ★ 情報を掲示する① ★ 掲示板・手紙などアナログも活用した情報伝達②
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 声をかけ合う→引きこもりの方へ家のチャイムをならして「一緒にやろう」と言う→行動要請が必要① ○ 色々活動していても後継者がいないので自分が続けるしかない ☆ キーパーソンが必要① 	-
地域の中で困って	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 独居の方、孤独死の危険性① 	自助

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
いる人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 居場所が2階だと高齢者はのぼるのが大変① ○ どんな人がいるか分からないのでサロンや居場所に出かけづらい ○ サロンなどに参加する必要性を感じていない ○ 人とかかわりを嫌がる独居の方がいる ↑そういう人に上手につながりを作れないか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと声かけから始める→声かけする人を増やす 共助 ★ 問題や課題をつなぐ人が必要① ★ 今何か活動している人。ほっとネット推進員、ささえあい訪問同士で協力する②
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 行政の他部署との連携(同じようなことをやっている)① ☆ 市役所が縦割りであること① ☆ 困っている人がどこにいるか、わからない① ☆ 相談窓口がない(広報されていないから?)① ○ 自分の困りごとが、どこの相談窓口に行けばいいかわからない ◆ 掲示板が沢山あるといい(情報が届く)① ○ 掲示板が規定きびしい 	<ul style="list-style-type: none"> 自助 ★ 情報共有(ご近所同士でお互いの家のことを把握できる環境づくり)② ★ 家族同士で仲良くなろう① 共助 ★ 連携(例)課内、課と課① 公助 ○ 市の職員の方、社協の方の意識の向上(困っている人の話をきく) ○ 職員のレベルUP ○ なんでも相談(ほっとネット)ではなく、分野ごとの相談窓口を作る ★ 継続して相談を受けてくれる窓口①

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	◆ 活動場所でお菓子など盗まれてしまった①	—
そのほか	◆ 若い世代の方に参加してもらいたい→子どもに関連するイベントをやると集まってくれて交流がとれた①	★ 一元化。情報、台帳など① <u>全体に係ること</u> ○ 長く続ける為にもあまり無理をせずできる範囲の活動を行う

D:はなみずきグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	☆ 自治会がないので、つながりが弱い① ☆ 町内会の形骸化① ・むかしのイメージ先行 ・役割負担減 ○ 若い人がいろいろな会に入会しない。町内会など ○ 町内会、自治会がない地域が多い ☆ 集合住宅へは声をかけたい① ☆ 自治会がなく近所の人との交流がない→自治会がほしい① ☆ 御近所の方とお話する時間・機会がほしい① ☆ 町内会のイメージを変えて、地域のつながりを持つツールにし	—

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> てはどうか① ☆ 自治会など近隣との交流少なくなった① ○ 町内会・自治会世代交代できず新しい展開できない ☆ 自治会の運営について参加しない世帯が増えている① 	
<p>交流の場が少ない、周知されていない</p> <p>*波線の意見は、一つのフセンに☆シールと◆シールが貼られているため、表記の都合上、分けて掲載しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人との関わりを拒否する方が多い(特に独居の男性)① ◆ 一軒家とマンションの住人の交流ができない① ○ 核家族により親子断絶 ☆ <u>集まるための場所がない。あってもバリアフリーじゃない①</u> ◆ <u>集まるための場所がない。あってもバリアフリーじゃない①</u> ◆ 地域拠点の問題点① <ul style="list-style-type: none"> ・使いづらい ・知名度の低さ ◆ 駅前にベンチがほしい① 	<p><u>交流の場</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 不用品の整理② ★ 不要品などを共同使用する(使えるもの)① ○ 不要な洋服など個人宅で難しいのでフリーマーケットのように集まれる場を設定。無料で必要な人が持っていけるように ★ 空きスペース、空き家の提供を募る② ○ 空き家の活用 ○ パソコンスマホ教室 ○ 相談しやすい居場所づくりと相談相手を増やす <p><u>交流の場を見つける</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何でも相談の頻度を上げる。出張サービスの採用 ○ 既存の設備を利用(共有)消防署や公民館 ★ 学生の活用、場所の提供と見守り③
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 地域の活動者不足① <ul style="list-style-type: none"> ・なり手なし ・仕事が優先 ○ NPO(例えば)設立はどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 子ども食堂。子どもだけでなく高齢者、独居の方も居られる場所があれば交流の場で人と関われる① ★ 子ども食堂→多世代型④ ○ 子ども食堂のお手伝い ★ 自治会、町内会のコミュニケーションの場を作る①

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
<p>地域の中で困っている人の把握が難しい</p> <p>*波線の意見は、一つのフセンに☆シールと◆シールが貼られているため、表記の都合上、分けて掲載しています。</p>	<p>⇒<u>地域の中で困っている人は、地域で支えることができるはず</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居るはずだけど、わからない ◆ 若い人が住みやすい街づくりが必要ではないか① ☆ <u>地域社会で友人を作る機会、場所、イベントがない①</u> ◆ <u>地域社会で友人を作る機会、場所、イベントがない①</u> ○ 青年会議所、参加率低くなっている ☆ 認知症の方の地域の見守りをどうするか① ○ 集合住宅へは声をかけにくい ○ 高齢者一人暮らし。生活、困り事相談、情報ない(サポート) ☆ <u>見守り訪問が大切①</u> ◆ <u>見守り訪問が大切①</u> ☆ <u>独居高齢者、孤独死等の対応①</u> ◆ <u>独居高齢者、孤独死等の対応①</u> ○ 高齢者で体は元気だけど、通帳とかカードの管理ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ スタッフ常駐のコミュニティセンター増設で交流の場づくり① ○ 町内会、ホームページ作成の人的支援 <p>—</p>
<p>相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい</p>	<p>⇒<u>情報は発信しているはずだが、届きにくい状況である</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報が多すぎる ○ 地域の情報を活性化させる ○ ミニ情報 ○ マイナンバーカード普及の促進 	<p><u>情報発信 デジタルとアナログ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西東京市チャンネル(市の広報番組 TV) ○ 西東京市 LINE→情報発信、活用ワンランクアップ、課題発見 ★ 回覧板が回らなくなったので、個人宅、集合住宅をつなげる新たな交流の発信を作る②

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報局 ○ マイナンバーカード、掲示板の重要性 	⇒アクションに結びつくのは人とのつながり
<p>交通の便が悪く、買物や通院に不便</p> <p>*波線の意見は、一つのフセんに☆シールと◆シールが貼られているため、表記の都合上、分けて掲載しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーも良いが近くの商店があれば近くの活気が出る ☆ <u>買い物に不自由をしている①</u> ◆ <u>買い物に不自由をしている①</u> ⇒ネットスーパー・出前 ○ インターネットの買い物、使える人、使えない人 	○ 移動販売②
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ○ きれいな街づくり。きれいだと言えないゴミの不法投棄がない ○ 家の周り道路の清掃をしたい ○ 防犯カメラの設置を多く→設置場所は知らせていただけののか ○ 災害時の対応について市のイメージや具体策がない ○ 防災への意識が低い。災害時への危機感なし ◆ 自動車に限らず自転車の乗り方歩行者の安全① 	<p>共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災」でつながる② ⇒共通の切り口
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 田無駅に近いスーパーがあるので気に入っています ○ 本当に、あらゆる人が暮らしやすい西東京市なのか ○ 欠けているものをおぎない課題解決 ○ “人間力”対面の情報共有 	

4. 南部地区

A:つつじグループ

項目 * 文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い☆③	<ul style="list-style-type: none"> ○ …フセンの内容 ☆ …5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆ …5年前になかった、新たなもの <ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会が、どんどん廃止されている ○ 自治会の必要性がなくなった ○ 自治会の存続が難しい ○ 新しく住んだ方が自治会に加入してくれない ○ 昔からの人がいなくなり、小さなハウスが建って入居した若い人は近所との付き合いを避けるようだ ○ 個人の情報を開示したがる。苗字のみ名前を書かない人もいる。電話番号・メルアド書かない ○ 世代間の課題を自分の事として共有するために何が必要か ○ 世代を超えた交流が少ないので近所とのつながりが薄い ○ 昔は、じいちゃん・ばあちゃんが、近所の子どもの面倒を見るのは当たり前だった。今はない。子育て(家の中が見えない) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ …フセンの内容 ★ …特に地域で取り入れていきたい解決アイデア <p>—</p>
交流の場が少ない、周知されていない☆①	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日中、留守の家が多い① ○ 地域に対する意識が薄い ○ サロンに参加してみたが、1人で参加された方への声かけが無かったので配慮が足りないと思った ○ 地域の中に集会所のような集まる場所がなくて困る 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 学校を中心とした地域づくり(拠点)① ○ 育成会、おやじの会ががんばっている ○ 子どもを巻きこむ。子どもの活動を支援する
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 地域活動の担い手が高齢化。後を継ぐ人がいない① ☆ 働いている人が多く、ボランティアの担い手が少ない① 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者クラブを通して情報を発行する

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
地域の中で困っている人の把握が難しい☆④	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の中で困っている人が、わからない。民生委員として ◆ 他人に迷惑をかけない。自分のことは自分で自己責任、自助。この感覚の高齢者は、人に頼まない① ○ 地域の課題が見えない(情報不足?関心が薄い?) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生との連携 ★ マルシェに、包括支援センターや相談窓口をつくる② ★ 困りごとを発信できる場所をPRする① ★ 福祉会館(新町)の活用③ ○ 自治会のブースもある ○ 困っている方に相談しやすい場所等をつくり、アピールする
交通の便が悪く、買い物や通院に不便☆④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人暮らし高齢者への傾聴ボランティアでのつながりが、できるようになった(良い制度と思う) ◆ 地域に合った掲示板が無くなってしまい情報がわかりにくくなった② ◆ 地域協力ネットワークのPRが足りない(知られていない)③ ⇒他の活動も ○ 南部地域協力ネットワークをご存知ない方が多くて残念だった。PR不足か ○ 地域でどんな活動があるのか?よくわからない ○ 武蔵野市との境なので西東京市の情報がとりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南部地域協力ネットワークを知ってもらう(ラジオ) ★ 地理的に隣の市に近いので西東京市民という感じが薄い。買い物は他市の方が便利① ★ キッチンカーや販売車のマップをつくる② ★ 公園や空き地を活用したマルシェをする④ ○ 団地内で近隣の店に来てもらった(マルシェ) ○ 見守りもできる

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	○ 市内の移動手段が少ない ○ どのバス停に行くのにも遠い	
防災・防犯面などいざというときの対応が不安☆①	○ 以前は毎年近くの交番で防犯の会議をしていましたが、昨年は会議なし	—
そのほか◆①	○ 個別の問題をみんなの課題にするには？ ◆ 年寄の3Rの実施・活性化(Reduce・Reuse・Recycle)⑥ ⇒高齢者の活用を	—

B:ひまわりグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い☆①◆①	○ 自治会解散が多くなった	○ 自治会、町内会がない地区があるので、それをどう解決するか
交流の場が少な	○ 交流の場がなくなった ◆ 家に引きこもりがち②	○ 五年前にくらべるとカフェが多くなっている。若い人に多く協力してもらえると良い

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
い、周知されていない☆②◆①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集会所を使い易く夜間の開放も ○ コロナの影響で会えなくなった ◆ ご近所数人のグループを作ってスマホ教室を作ってお互い知り合うようにする① 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 市の特命を受けたスマホ指導士③ ★ 情報の発信の仕方、受け取り方が多数ある。そのうち即時性があるのはスマホだと思う。地区ごとに若い人に教えてもらう場をつくる② ★ 空き家が増えてきて草がかれて火災がおきないか心配①
ボランティア活動に取り組む担い手が不足☆②	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人を集めるのが大変③ →コロナの影響で特に ○ ボランティアの担い手が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 色々な集まりに顔を出して発信する① ★ 地域の女性の力に助けてもらう①
地域の中で困っている人の把握が難しい☆④	<ul style="list-style-type: none"> ◆ コロナになって十分に見守りができなくなった② →コロナの影響で特に 	-
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい☆②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示板がなくなった ○ 情報が届かない ○ 情報の発信方法多様に ○ 相談する役所がわからない 	-
交通の便が悪く、買物や通院に不便☆③◆①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物の不便 ○ 交通の便の悪さ ◆ はなバスが通っていても年寄り、バス停が遠い、不便である① ○ 西武線が近くてバスも走っていて交通の便がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 移動販売車があれば③ ★ タクシーの回数券① ★ 道の広さにあわせて小さい車に乗る① ○ はなバスルート、便数を増やす
防災・防犯面など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災のときどうしたらいいか 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 防犯は、近所づきあいがだいじ①

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
いざというときの対応が不安☆②	◆ 防犯カメラを取り付けてほしい① ○ 空き家が増えている。物騒になっている ↑最近増えた ○ 市街地だけでなく住宅街でも歩きたばこ禁止を	★ 小学校の回りや子どもが遊ぶ公園に防犯カメラを増やしてほしい② ○ 学校、通学路カメラ ○ 自宅のまわりの気配に注意する
そのほか	◆ 若い人のマナーが違う③	★ 小中高での講習会、親子マナー講座②

C:コスモスグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの	○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	☆ 自治会が無い、弱体(リモート自治会を)① ☆ 向こう三軒両隣の組織化① ○ 自治会の存続が難しくなった ○ 近所付き合いがなくなり、いざというとき、手伝いができない ○ 自治会の運営が難しい。開催場所の確保 ○ 挨拶出来る近所付き合い。多くの知り合いを作る ◆ 若者と高齢者のつながり①	<u>自助</u> ○ リモート自治会を動かす ★ 情報をポスティングする①
交流の場が少ない、周知されていない	◆ 交流の場が減ってしまっている② ◆ コロナ以降サロンの参加者が増。オレンジカフェ① ◆ 子ども食堂の活動を利用する人が増②	<u>自助</u> ★ 包括などの主催するカフェをお願いする① ★ PC を教えられる若者(学生)と年配の方との交流(アルバイト)

項目 *文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	◆ 若者と高齢者のつながり①	<ul style="list-style-type: none"> として認める)③ 共助 ★ 若者と目線を合わせて活動する② ○ 子育てママさんとのつながりづくり
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	☆ 民生委員が少ない①	-
地域の中で困っている人の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 集合住宅の特殊性+コロナ禍で生活が見えない① ☆ コロナ禍で気軽に訪問できない① ○ 助けを求める仕組みがわからない ☆ お一人住まいの方の安否確認③ 	<ul style="list-style-type: none"> 自助 ★ 情報が各家に行きわたっているかの訪問は必須① 共助 ○ 情報がまわるためのコミュニティ作り ★ 警察とタイアップして地域をまわる(信頼される)① 公助 ★ 自治会、町内会は10万世帯の10%でしかない。これでは情報がわからない①
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報がうまく届かない(広報・掲示板・チラシ) ☆ 隣近所の動向がわからない(特にコロナ禍のため)① ○ 社協の役割の認知 	-
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 交通空白地帯をなくすこと(はなバスルートの見直し)① ○ 年齢を重ねて駅までの交通手段に困っている ☆ 移動支援その後(デイサービスの車両、日中借用)① 	<ul style="list-style-type: none"> 共助 ★ 交通疎遠地帯は話には聞かすが、解決されていない① 公助

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物が大変、坂が多い ○ スーパーが近くにない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物のための回数券 ○ 移動もできる
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 防災・災害対応地域に届かない① ☆ 避難所が地域・学区をフォローしていない① ○ 市民が避難所を知らない ☆ 困ったときの相談先が分からない① 	<p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワンワンパトロール。犬の首にバンダナを巻いて散歩してもらう ○ 地域別にインフラがまひしたとき用に地図を作ってもらう ★ 柳小避難所運営委員会に働きかける。(学区への情報提供)① ○ いざというときに使えるよう準備する ★ 命の黄色いハンカチ、全市へのPR活動①
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 西東京市内で解決しようと思わなくても良い① ○ 市全体で考える仕組みがない <p>モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自転車のルールが守られていない③ ○ タバコの吸い殻のポイ捨てが多い ○ タバコのポイ捨て困る 	<p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ この様な会議として成果の部分とすることが大切①

D:はなみずきグループ

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
地域に対する意識が薄い・つながりが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自治会の衰退・解散① ◆ 近所の声かけ、お付き合い① ○ 自治会のつきあいがない ○ 近所との付き合いがない ○ 町会を活発に。全員の利益になるような行事ができるとうい ○ 干渉してくれるなという雰囲気 ○ 自治会がない。なくても良いのか ○ ご近所づきあい ○ 自治会の看板がなくなった 	-
交流の場が少ない、周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 集会所がない① ○ 新町に集会所がなくなり不便。情報が新町にはない ○ 新町に図書館・公民館がほしい ◆ コロナで外出することが少なくなった① ○ オンラインサロン活用講座(対面とオンライン併用) ○ 掲示板がなくなったことで、広報が出来ない 	<p>つながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生等若者に助けてもらう ★ オヤジの会の2か月1回の集いは親睦のためにとっても良い①
ボランティア活動に取り組む担い手が不足	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生委員欠員の地区がある 	-
地域の中で困っている人の把握が	<ul style="list-style-type: none"> ○ お年寄りの方が1人で出かけていて心配 ○ 独居高齢者の増加 	-

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
難しい	<ul style="list-style-type: none"> ◆ コロナで見守りできない① ○ 仕事・学校で昼間人がいない 	
相談窓口やサービスなどの必要な情報が届きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選挙の公営掲示板が人通りの少ない所ばかりにある ○ 情報が届かない ◆ スマホへの移行難しい① ◆ オンライン手続きできない人の対応① 	-
交通の便が悪く、買物や通院に不便	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動販売 ☆ はなバスが自宅の近くを通っていない① ☆ 向台町3丁目あたり？買物難民がいる① ○ バスの便が悪い ○ 買物が大変 ○ 住宅街の交通の便。バスなど ○ 新町5丁目買物が遠い ○ スクールゾーンが多い。送迎が大変 ○ 交通の便がない ○ 自転車が危ない ○ はなバスが1時間1本少なすぎ。150円高すぎ ○ 自転車のマナーが悪い ○ 坂道が多いと感じるようになった ○ 徳洲会病院と中川動物病院の間の道を一方通行に。あぶない 	<p>買物</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 移動販売② ★ コンビニの協力② ★ 買物した品の配達② ○ デイバスで荷物を配達 ○ 買物バス。1日1回。どこかの地域でやっていた(テレビで) <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ はなバスの新ルート② ○ 交通安全教室 ★ 親子自転車教室①

項目	“困っている・よくしたいと思っている”こと	解決アイデア
*文章の最後にある丸の中の数字はシールの数を表しています。	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ☆…5年前と比較して、あまり解決が進んでいないと感じるもの ◆…5年前になかった、新たなもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○…フセンの内容 ★…特に地域で取り入れていきたい解決アイデア
	<ul style="list-style-type: none"> ○ バス停がとてもあぶないところにある ○ 選挙の投票所が遠くなり高齢者は大変 ○ 歩道のデコボコをなくしたい ○ 歩道が歩きにくい所がある ○ 道路が狭い 	
防災・防犯面などいざというときの対応が不安	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ポイ捨てを減らす① ○ タバコのポイ捨てが多い ○ 野良猫のえさ、フン ○ 野良猫の迷惑(尿・フン)をなくしたい ○ 大空公園にトイレを ○ 防災無線きこえづらい 	<p>防災・日頃からの声かけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 黄色のハンカチ① ★ 向こう三軒両隣の声かけ② ○ 各家庭で掲示板をつくる ○ 防災の黄色いハンカチ作戦は、とても良い ★ 防犯カメラを増やす①
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ○ サービスが整ったから困っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 猫、犬の飼い方講習会①

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に伴う
地区懇談会実施報告書

発行・編集：西東京市健康福祉部地域共生課

発行年月日：令和5年3月

〒188-8666 東京都西東京市南町 5-6-13(田無第二庁舎1階)

電 話 :042-420-2807(直通) FAX :042-420-2896

E-MAil:fukushisougou@city.nishitokyo.lg.jp